

# 社会福祉法人永山会

## 平成30年度 事業計画

### 1、基本方針

法人創立23年となり、まどかⅡ番館の開設、次の時代を担う職員の育成等、新たな時代に向かって歩み始めた。

法人内においてコンプライアンスを遵守できるよう経営管理し事業活動を行う。また、『明るく、楽しく、美しく』の基本理念に基づき、利用者一人ひとりの尊厳ある生活を守り、自立した生活支援に努め、日常生活を安心、満足して暮らしていただける施設運営を目指す。

### 2、長期目標（5か年）

- 1、社会福祉士法の改正に基づきガバナンスの強化及び透明性の確保に努める。
- 2、利用者の自己実現の達成を目指す。
- 3、職員の適正やキャリアに沿った教育体制を構築し人材の育成を図る。
- 4、法令を遵守し安定した施設経営を心掛け、各サービス事業所が無駄をなくし資源の節約に努める。

### 3、中期計画（3か年）

- 1、法人の組織基盤を強化し本部体制を確立する。
- 2、認知症になっても住み慣れた地域で笑顔で暮らせる支援に努め、関係機関との連携を構築する。
- 3、法人の研修体系に沿った新人・現任研修や中途採用計画の充実を図る。
- 4、まどかⅡ番館の安定した経営と既存事業の稼働率アップを図る

### 4、短期計画

- 1、介護保険法、老人福祉法を遵守する。
- 2、利用者本位のサービス実現のため、第三者サービス評価を受審し評価結果の分析と課題解決を行い高品質のサービスを提供する。
- 3、利用者一人ひとりが望む生活を実現するため利用者や家族の状態を把握し、個別ケアやクラブ活動、家族を含めた行事を実施する。
- 4、コンピューターソフトの効果的な活用により、記録業務の簡素化を図り業務全体の密度を高め、業務の標準化に努める。
- 5、地域の医療機関、協力病院、居宅介護支援事業所、住民組織、行政、介護サー

- ビス事業所との連携を図り地域包括ケアシステムを推進する。
- 6、リスクマネジメント能力を強化し、感染防止、大規模災害に備えた訓練と準備、行政や地域との有災時協力体制を構築する。
  - 7、地域住民との交流、実習生・ボランティアの受け入れ等を積極的に行い、サロンや居場所作りの取り組みなど、法人の公益性を高め地域社会に貢献できるよう努める。
  - 8、職員の資格取得のための研修会への積極的な参加、福利厚生の実施等、人材の定着と確保に努める。
  - 9、日常生活総合事業への移行に伴い、介護予防事業の実施と強化を図る。

#### まどかⅡ番館 特別養護老人ホーム

##### 【目標・重点課題】

- ・新規利用者の受け入れ体制の整備
- ・ユニットケアに取り組む  
24時間シートの作成
- ・専門性の高いケアの提供  
人材育成において、個々の職員に合わせた教育体制の整備に努める。
- ・豊かさや楽しみのある生活  
家族との外出や定期的な行事への参加を大切にする。

##### 【取組内容】

- 1) 個々の利用者のアセスメントの強化を行い、ケアプランの充実を図る。
- 2) 利用者が施設で楽しく過ごすために、24時間シートを活用し、3ヵ月毎のサービス担当者会議で他職種が協働し、本人、家族と一緒に暮らしを考える。
- 3) 職場内におけるOJTの体制構築を図ると共に、キャリアパスに準じた、外部への研修に積極的に参加し、介護職員、看護職員等の技術向上に努める。
- 4) 法人内の催しや、地域の祭事やイベントに積極的に参加し地域の住民として暮らせるように自律した生活を支援する。  
定期的(2ヶ月に1回)に開催する運営推進会議や居場所づくりのサロンを通じて地域との交流を深める。

#### まどかⅡ番館デイサービス

##### 【目標・重点課題】

- ・地域のニーズに即した事業と地域包括ケアの推進  
地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所等の他機関と情報を共有し柔軟なサービスを提供する。
- ・ひとりひとりの希望に対応したメニューの選択  
少人数でのリハビリや、入浴、食事などゆったりした快適な空間で介護予防を進める

#### 【取組内容】

- 1) 他職種での情報共有を密にしたアセスメントを行ない、在宅生活の継続を支援する。
- 2) 自身で選択できるレクリエーションや生活リハビリ等のプログラムの充実を図り、デイサービスで楽しく過ごすことで利用者・家族の満足度を高め、稼働率の安定・向上につなげる。
- 3) 自宅を訪問する機会に利用者の生活を把握し、デイサービスでの過ごし方だけでなく、自立した生活を送れるように相談機能を高める。
- 4) 介護記録システムを有効活用し、記録の簡素化・業務の効率化を図る。

### まどかⅡ番館グループホーム

#### 【目標・重点課題】

- ・自立支援の介護に努め介護予防を推進する  
食事、排泄、運動、水分、口腔ケア等を中心とした生活支援の提供
- ・家族との連携  
ケアカンファレンスや家族会、行事への参加を呼びかけ交流の機会を持つ
- ・地域との連携  
地域の理解者を増やし、協力者を募り地域を基盤とした生活が維持できるよう支援する。

#### 【取組内容】

- 1) 個々に対応じたケアプランによりその人らしさを失わない介護に努める。
- 2) 必要に応じ専門医を受診し、より良いケアプランを作成する。
- 3) 家族会を年2回以上開催する。
- 4) 運営推進会議を2ヶ月に1回開催する。
- 5) 地域ケア会議への参加。居場所作りのサロンの開催。

## 《特別養護老人ホームしがせせい苑》

### 【目標・重点課題】

重度化している利用者、認知症の利用者が、安心・安全かつ快適に生活していただけるよう、それぞれの専門職が知識と技術の習得に努めます。地域社会との連携を密に持つことで、地震や水害等の災害対策を講じ、非常事態に対応できるシステムを構築します。利用者には生きがいをもって生活してもらえるように支援します。また、職員にはやりがいと誇りを持って働けるような職場作りを行います。

### 【取組内容】

- 1) 主治医、介護、看護など、多職種との連携により、利用者の口腔機能向上の取り組み。栄養プランの充実。利用者や利用者家族の希望に沿った看取りケアの提供等を行い、重介護の利用者が安心・安全に暮らせるように高い知識と技術、倫理を身に付けます。
- 2) 外部研修に積極的に参加し、専門職としての技術と知識の向上を図ります。認知症が悪化し、在宅で対応が困難になった利用者の受け入れを積極的に行います。
- 3) 機能訓練やクラブが利用者にとって楽しく取り組む事ができ、それらが介護予防・機能維持につながるように努めます。また、利用者の変化に応じて、一人ひとりがその人らしい生活を送れるように24時間シートの定期的な見直しを行い、サービス担当者会議で利用者・利用者家族の希望に沿ったケアプランを作成します。

## 《居宅サービス（デイサービス・ショートステイ）》

### 【目標・重点課題】

利用者一人ひとりが望む生活を実現するため利用者や家族の話を聞き個別性の高い通所介護計画を作成し、在宅で生活されている方が住み慣れた地域でできる限り長く生活できるよう支援する。ケアプランに沿った総合的な機能訓練で利用者の機能向上に努める。また、介護予防・日常生活支援総合事業の開始により介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、その人の心身状態や必要性にあわせて、さまざまなサービスを提供する。さらに重度の認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう行政や医療機関などと連携する。

### 【取組内容】

- 1) ケアマネージャー、主治医等、利用者を取り巻くサービス事業者と積極的に情報交換し、より良いサービスの提供に努め在宅支援機能の強化を図る。
- 2) 施設内通貨『エール』をツールとして使用し利用者の自立支援の援助ができるよ

うプログラムの充実を図る。

3) 利用者の在宅生活を支援し、ケアプランによる希望に沿ったリハビリを実施する事で介護予防に努め利用者の機能向上に努める。また、心身機能訓練から生活行為向上訓練まで総合的に機能訓練を行う。

4) 中重度の要介護者や認知症高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、また家族の介護負担軽減となるよう支援する。

5) 職員は情報の共有に努め、アセスメント機能を高め個別性の高いサービスを提供する。

6) 行政や医療機関との関係を強化し事故防止、感染症予防に努めます。

7) 地域連携の拠点として医療や介護、地域住民活動など連携し、家族との情報交換や連携を図り地域包括システムを推進する。その一環として地域サロンを開催していく。

8) 研修会、勉強会等に積極的に参加し、職員一人ひとりが技術を高める。

《居宅介護支援事業所 しがそせい苑》

#### 【目標・重点課題】

在宅で生活されている方が、住み慣れた地域でできる限り長く生活できるよう支援する。

重度の認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう、行政や医療機関などと連携する。

#### 【取組内容】

1) 要支援者、要介護者が住み慣れた地域で家族や友人との繋がりを持ち続けて生活できるよう支援する。

2) 認知症状で徘徊をされる要介護者やその家族が安心して暮らせる地域の環境作りを行政と連携して行う。

3) 利用者、家族、医療機関、地域のサービス事業所、民生委員、地域住民との情報交換を密にし、利用者を取りまく社会資源をサービスに位置づけ、地域包括ケアシステムの構築に努める。また、施設での取り組みである地域サロンに積極的協力を行い、在宅ケアマネージャーの顔を覚えて頂ける様にする。

4) 様々な制度に対応できるよう内外の研修に参加し、より良いケアプランを作成する為に自己研鑽に努める。

## 《ケアハウス しがそせい苑》

### 【目標・重点課題】

- ・入居者が生きがいを持ちながらできるだけ長くケアハウスで生活できるよう、介護予防の推進に努める。
- ・地域住民との関係作りを構築する。
- ・地域社会と連携し災害時の対策を講じ、非常事態に対応できるシステムを確立し、安心・安全に暮らせるよう支援する。
- ・高齢化がすすむ現状に沿って、ケアハウスでの生活が困難になった入居者の次の居場所をスムーズに確保できるよう、入居者・家族・ケアマネージャー・主治医等、入居者を取りまくサービス事業者との連携を行う。

### 【取組内容】

- 1) リハビリ体操やクラブ活動、入居者の特技を活かせる余暇活動を通じ、介護予防を推進し、入居者の機能向上に努める。
- 2) 入居者が積極的に地域の催しに参加し、交流を深めることで顔なじみの関係づくりを行う。
- 3) 行政や医療機関との関係を強化し、感染予防に努める。また地元大曲町との災害時連携、守山市の福祉避難所、また防犯のための近隣パトロールなど、地域社会と連携し有災時の協力体制を確立する。
- 4) 加齢に伴う疾病や ADL の低下に対応できるよう職員の技術や知識の向上に努める。
- 5) 内覧会を定期的を開催するなど、ケアハウスの PR 活動を進め、空室を速やかに埋められるよう入居待機者の確保に努める。